様式第 1-5（Ver.29.3）

新医学系指針対応「情報公開文書」改訂フォーム　　　　　　複数施設研究用

以下、本文---

ペグインターフェロン・リバビリン併用療法後の予後についての検討

１．研究の対象

2014 年 6 月までにペグインターフェロン・リバビリン併用療法を開始した C 型慢性肝炎・肝硬変の方

２．研究目的・方法

C 型肝炎ウイルスに対しペグインターフェロン・リバビリン併用療法で治療を行った後に、肝細胞癌の発生や肝硬変の進展などが抑制され、予後が改善されるかどうかを明らかにしたいと思います。研究実施期間は 2021 年 12 月末までを予定しています。

３．研究に用いる試料・情報の種類

生年月日、性別、身長、体重、既往歴、合併症、輸血歴、飲酒歴、抗ウイルス療法の既往、前治療効果、肝癌治療歴、肝組織病理診断、各薬剤の服薬状況、採血・画像データ、肝癌の発生状況など。

４．外部への試料・情報の提供

研究に用いるデータは、研究代表組織である大阪大学消化器内科に提供します。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データは個人が特定できないように番号を割り振って匿名化します。番号と個人の対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

５．研究組織

研究代表施設：大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

共同研究施設：
国立病院機構大阪医療センター　三田英治
国立病院機構大阪南医療センター　肱岡泰三
国立病院機構南和歌山医療センター　藪内以和夫
大阪労災病院　平松直樹
関西労災病院　萩原秀紀
大阪警察病院　尾下正秀

大阪国際がんセンター　大川和良
大阪急性期・総合医療センター　藥師神崇行
公立学校共済組合近畿中央病院　山本光成
国家公務員共済組合連合会大手前病院　土井喜宣
JCHO 大阪病院　伊藤敏文
兵庫県立西宮病院　飯尾禎元
箕面市立病院　田村信司
市立池田病院　今井康陽
市立伊丹病院　筒井秀作
市立豊中病院　稲田正己
市立吹田市民病院　吉田雄一
市立芦屋病院　竹田　晃
西宮市立中央病院　小川弘之
八尾市立病院　福井弘幸
市立東大阪医療センター　松本仁
市立貝塚病院　山田幸則
住友病院　山田晃
NTT 西日本大阪病院　金子晃
大阪府済生会千里病院　鈴木都男
加納総合病院　久保田真司
明和病院　早川勇二
大阪回生病院　谷村博久
笹生病院　西内明子

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
大阪国際がんセンター　　肝胆膵内科　名和　誉敏
住所：住所：〒541-8567　大阪市中央区大手前 3-1-96
電話：06-6945-5086

様式第1-5（Ver.29.3）

研究責任者：大阪国際がんセンター　肝胆膵内科　名和　誉敏
研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学・教授　竹原　徹郎

--**以上**